

「復曲」は埋もれた文化遺産の発掘

復曲能「真田」

第十回湘南ひらつか能狂言

平塚ゆかりの演目

会場 ひらしん平塚文化芸術ホール 大ホール



2025年2月8日(土)

開場/13:30 開演/14:00

【演 目】詩吟「与一甚句」、仕舞「七騎落」、復曲能「真田」

【出演者】加藤眞悟(重要無形文化財能楽の保持者)ほか

【チケット】全席指定 S席 3,000円 A席 2,500円

※未就学児の入場はご遠慮ください。

【販 売】インターネット販売

平塚市まちづくり財団 コンサート 検索

ファミリーマート店内 マルチコピー機

ひらしん平塚文化芸術ホール 総合受付窓口 TEL0463-79-9907

【発売日】2024年11月28日(木) 10:00から



第五回湘南ひらつか能狂言「真田」より 撮影:前島吉裕

学生(小学校4年生以上)無料招待席あり 先着50名

※小学生は保護者(1名)の方と一緒にご参加ください。

往復はがき(1名につき一枚)に、住所・氏名(ふりがな)・学校名・学年・年齢・電話番号を明記の上、下記あて先までお申し込みください。

申込締切:2025年1月23日(木)の消印まで有効

主 催/(公財)平塚市まちづくり財団・湘南ひらつか能狂言実行委員会 後 援/平塚市教育委員会、小田原市教育委員会、三浦市、湯河原町教育委員会
協力/一般社団法人 復曲能を観る会、眞謡会、与一の郷づくり協議会、湯河原土肥会

【お申し込み・お問い合わせ】 ※この事業は平塚市文化振興基金の一部を活用して実施しています。

〒254-0045 平塚市見附町 31-10 (公財) 平塚市まちづくり財団 文化事業課 「湘南ひらつか能狂言」係 TEL: 0463-32-2237

第十回 湘南ひらつか能狂言

令和七年二月八日(土)午後二時開演
於・ひらしん平塚文化芸術ホール

お話

復曲能について

加藤 真悟

能「真田」と相模の武士団

保立 道久

詩吟

与一甚句

与一の会

仕舞

七騎落

梅若 紀長

地謡

梅若千音世
萩原 郁也
梅若 紀佳
加野 鉄音

休憩 (二十分)

復曲能

真田

ワキ 保野五郎 安田 登

大鼓 大倉正之助
小鼓 久田舜一郎

笛 藤田 次郎

間 与一ノ従者 奥津健太郎
後見 梅若 紀佳
梅若 紀長

地謡

土田 英貴
梅若 雅一
八田 達弥
坂 真太郎

終了予定午後四時半頃

解説

仕舞「七騎落」

石橋山の合戦に破れた頼朝三行が、湯河原の山中を逃げ惑ったあげくに、土肥実平の用意した小舟で、真鶴の海岸から房総半島に脱出するときの話の能。

頼朝の命令により実平は子を敵の待つ陸地に下船させるが、和田義盛の助けにより再会を果たす。仕舞では、実平の忠勤を頼朝が讃える場面を舞う。

能「真田」

頼朝拳兵の石橋山の合戦の様を描く。

石橋山での昼間の戦いは、辛くも凌いだものの、夜戦はまず一騎打ちから始まる事になる。真田与二は頼朝からその役を任せられ、加えて副將軍を賜る。父の岡崎義実とはこれが今生の別れと別れを惜しむが、この合間に頼朝を逃がすことができれば武士の誉れと与二を送り出す。かくして大庭影親の弟、保野景久と組討ちになり、与二は景久を一旦は組み伏せるが、表面錦絵、短刀の鞘が血糊で抜けず、駆け付けた長尾新五、新六の兄弟に斬られ、与二の傳(め)のと陶山文蔵も三人に斬られ果ててしまう。

かくして、後ろ髪をひかれつつも、その場を逃れた義実であったが、頼朝が諸侯を治めて鎌倉入りをすると、これも与二が功績があればこそと舞男舞を舞う。頼朝も石橋山へ与一の宮、文蔵堂を建て、鎌倉幕府が成ったのも与一の功績と讃える。

謡本「真田」ご案内

復曲検討会では、室町・江戸時代の「真田」謡本数冊を精査し、現代人が謡える本を制しました。語釈が附記され、字が大きく、鑑賞の手引きとしてお使い頂けます。当日ロビーにて2,200円でお求め頂けます。

※今回の企画は平塚市にゆかりの「真田」を復曲にテーマを絞り狂言はございません。予めご了承ください。

湘南ひらつか能狂言ではこれまでに「源平盛衰記(せいすいき)」を題材にした能「真田」、「曾我物語」から「伏木曾我」「虎送」「和田酒盛」「大磯」の五曲を復曲しました。



※駐車場はございませんので、なるべく公共交通機関をご利用ください。